

# 経頭蓋磁気刺激(TMS)と 集中的リハビリテーションとの併用療法のご紹介 ～脳卒中後の上肢麻痺および失語症に対する短期治療プログラム～

## <TMS(経頭蓋磁気刺激)治療とは?>

TMS(経頭蓋磁気刺激)治療とは、特殊な刺激コイルを用いて、頭の外側から大脳を局所的に刺激する治療です。本治療は痛みや苦痛を全く伴わないものであり、治療を受ける際にも患者様は安静に座っているだけです。

TMS治療は、すでに傷を負った脳組織を再び活動させるための治療ではなく、「いまだ余力のある健常な大脳組織を刺激して、機能代償が活発に起きるようにする」治療です。これは、新しい概念である「ニューロ・リハビリテーション」の考え方に基づいており、脳が自らもつ回復力を最大限に引き出す治療として、世界的にも非常に注目されています。当科では、脳卒中後の上肢麻痺と失語症をTMS治療の対象としています。

## <本学附属病院および附属第三病院におけるTMS治療の適応基準 ～平成24年12月1日現在～>

TMS治療は全ての脳卒中患者様に対して行える治療ではなく、以下の適応基準を全て満たす患者様に対してしか行うことができません。また、仮に適応基準を満たしており、本治療を受けられたとしても、残念ながら全ての患者様に有益な効果がみられるわけでもありません。なお、現時点においてはTMS治療は、医療行為としての承認はなされておらず、本学倫理委員会の承認を受けた臨床研究として行っていることも、どうぞご理解・ご確認ください(施行にあたっては、患者様ご本人の承諾が必要となります)。

### <適応基準>

- (1) 治療時の年齢が16歳以上である。
- (2) 認知機能がほぼ正常である(認知症ではなく、十分な記憶力と集中力が保たれていること)。
- (3) うつ病でない。
- (4) 透析をしていない。
- (5) 頭蓋内金属(クリップ、コイル、ステント)が入っていない、心臓ペースメーカーが入っていない。
- (6) 少なくとも過去一年間においては痙攣の既往がない(脳波検査で異常がない)。
- (7) 全身状態が良好である(発熱、栄養障害、重度心疾患、体力低下などが無い)。
- (8) 日常生活が自立している(自ら移動できるなど生活上では介助が要らない)。
- (9) 現在の症状(上肢麻痺、失語症)の原因が、脳卒中(脳梗塞、脳内出血、クモ膜下出血)である。

### ◎上肢麻痺

→手首を曲げないで、指でグーパーができること。少なくとも母指(おやゆび)・示指(ひとさしゆび)・中指の3指が曲げたり伸ばしたりできること(全く手を握れない、ひとたび手を握ったら全く伸ばせない、などの場合は適応外となります=TMS治療を行うことはできません)。

### ◎失語症

→発語がスムーズではない、言葉がとっさには出てこず言いたいことが言えない、単語を思い出せない、単純な内容であれば理解できるが複雑な話は聞いても分からないなどの症状がある。

# 全く発語がない患者さん、簡単な文も聞いて理解できない患者様は適応外となります。

＜TMS治療・ボツリヌス治療を希望される方へ  
～慈恵医大本院での外来予約の流れ～＞

上記の適応基準をすべて満たしており、附属病院におけるTMS治療を希望される場合には、以下のごとくの手順をふんでいただくこととなります。

**（上記の適応基準をひとつでも満たしていない患者さんに対しては、原則的にTMS治療は行いません）**

- ① 現在のかかりつけ医(主治医)より、東京慈恵会医科大学附属病院（東京都港区西新橋）リハビリテーション科 TMS初診外来のFAX予約を行ってまいります。  
（TMS外来は火曜・金曜の午後です）
- ② 主治医より予約がとれたと連絡を受けましたら、指定の日時に主治医の紹介状を持ってご来院ください。  
※TMS初診外来は医療機関からのFAX予約のみとなります。  
※直接お越しいただいても診察できません。  
※患者さんご本人からのFAX予約はお受けしておりませんので、ご紹介元医療機関からお申込みくださいますようお願いいたします。  
ダウンロードはこちらから→( <http://www.jikei.ac.jp/hospital/honin/letter.html> )
- ③ 外来診察の結果、TMS治療の適応があると判断された場合、その時点で入院予定リストに登録 されることとなります。

なお、場合によっては、痙攣の危険性を確認するための脳波検査、刺激部位決定のための機能的MRI検査の予約をしていただく場合があります

（脳波検査、機能的MRIは診察日当日には行えません。脳波検査、機能的MRIの結果によっては、TMS治療の適応がないと判断される場合があります）。

- ④ 後日に入院日が決定すれば、担当医から電話で連絡をいたします。
- ⑤ 磁気刺激についての医療費は生じませんが、入院治療を行うにあたり、部屋代、食事代、リハビリ代はご負担いただきます。
- ⑥ ボツリヌス治療の施行の有無は外来受診時に判断致します。

## <TMS治療を希望される方へ～連携医療機関一覧～>

現在、TMS治療の連携医療機関は、慈恵医大附属病院(本院)以外で8施設あります。いずれの施設の治療スタッフも、慈恵医大での研修を終えており、同じ理念の下、本治療にあたっています。

**上肢麻痺に関するNEURO は、慈恵医大本院と以下の8つの施設で行っています。失語症に対する磁気刺激治療は、慈恵医大本院と清水病院でのみで行っています。**

下記医療機関での治療を希望されます場合は直接お問い合わせいただきたくお願い申し上げます。

### 1.東京慈恵会医科大学附属第三病院【東京都】 **上肢麻痺、失語症**

〒201-8601 東京都狛江市和泉本町4-11-1

TEL03-3480-1151(代表)→リハビリテーション科外来へ

### 2.医療法人(財団)共済会 清水病院【鳥取県】 **上肢麻痺、失語症**

〒682-0881鳥取県倉吉市宮川町129

TEL (0858)24-5023 (平日8:30～17:30)TMS事務局専用ダイヤル

### 3.社会医療法人財団慈泉会 相澤病院【長野県】 **上肢麻痺**

〒390-8510 長野県松本市本庄2-5-1

TEL0263-33-8600(代表)

### 4.医療法人財団 健貢会 総合東京病院【東京都】 **上肢麻痺**

〒165-0022東京都中野区江古田3-15-2

TEL03-3387-8071(TMS予約専用ダイヤル)

### 5.医療法人社団朋和会西広島リハビリテーション病院【広島県】 **上肢麻痺**

〒731-5143 広島県広島市佐伯区三宅6-265

TEL082-921-3230(代表)→地域連携室へ

### 6.医療法人 光心会 諏訪の杜病院【大分県】 **上肢麻痺**

〒870-0945 大分市大字津守888番地の6

TEL 097-567-1277(代表) 担当:高橋(MSW)、田村(PT)

### 7.医療法人 寿人会 木村病院【福井県】 **上肢麻痺**

〒916-0025 福井県鯖江市旭町4-4-9

TEL(0778)51-0478(代表)

### 8.医療法人社団 行陵会 京都大原記念病院【京都府】 **上肢麻痺**

〒601-1246 京都府京都市左京区大原井出町164

TEL075-744-3121(代表) 担当:辻山健太